

そよかぜ

毎日新聞西部社会事業団だより

第82号 2012年3月

発行所 〒802-8651
北九州市小倉北区紺屋町13-1
(財)毎日新聞西部社会事業団
発行人 木村 雄峰
電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009
E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp
郵便振替 01770-2-40213
URL http://www.mainichi.co.jp/seibu_shakaijigyo/

歳末助け合い募金へのご協力ありがとうございました



毎日新聞筑豊支局に募金を持参した聖母幼稚園の園児たち。12月22日。

「愛の義援金」は毎年、12月の約1カ月間を募集期間と定め、過去に何らかの募金を頂いた方や歳末チャリティ展でご購入頂いた方々などに募金をお願いするチラシや振込用紙などを郵送しており、11年度は約6000人の方々に協力をお願いした。

その結果、早いペースで11月末ごろから集まり始め、師走に入るとともに続々と寄せられ、連日50件前後の振込通知が届いた。特別の振込通知は更に多くの振込通知が殺到し、担当スタッフは地域面紙面に掲載する募金者のお名前書きなどに追われた。世界的な不況が募金に影響する予想される中、総件数は971件と前年度に比べ17件減少したが、募金総額は1億712万923円と前年度に比べ415万8811円増加した。

増加した要因は、東日本大震災支援金に622万8811円、毎日希望奨学金に423,923円、東日本大震災復興基金に622万8811円、その他が寄せられたためだ。一方、一般募金をはじめ、他の指定寄付の海外慈善教育基金や小児がん征圧募金、被災者支援基金など大幅減となった。一般募金は約622万8811円減の462万8811円となった。

◆寄せられた浄財は団体助成金や入学・卒業祝い品などに活用

今年度の歳末募金は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響により大きく様変わりした。寄せられた募金の5割を超す665万円余りが、東日本大震災復興基金と毎日希望奨学金で占められ、その他の募金が例年より減少する結果となった。

しかし、歳末募金を原資にした児童養護施設や母子施設の子どもたちへの新入学・卒業祝い品プレゼントは例年通り実施することとし、この春小学校に入学予定の子どもや中学・高校を卒業予定の生徒たちを対象に福岡、山口、長崎3県の95カ所の施設を対象に、事前に調査用紙を配布して、対象者数などを調べてもらった。

対象者は86施設710人で、新入学児童にはランドセルやリュックサック(水筒付き)、手提げ(筆箱付き)、雨具セット、図書カードのいずれか希望の品を、中学・高校を卒業予定の子どもたちには目覚まし時計か図書カードを贈る。

	11年度		10年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般募金	693	4,628,645	764	6,783,711	-71	-2,155,066
海外救済金	72	369,678	109	628,934	-37	-259,256
小児がん	92	568,216	115	650,080	-23	-81,864
小計	857	5,566,539	988	8,062,725	-131	-2,496,186
東日本大震災 救済金	76	6,228,811	0	0	76	6,228,811
希望奨学金	38	423,923	0	0	38	423,923
合計	971	12,219,273	988	8,062,725	-17	4,156,548

◆成人や退院、入学、卒業 障害者31人祝う

成人や退院など人生の節目を迎えた知的障害のある人たちを祝う「第31回出発を励ます集い」(北九州市、北九州市手をつなぐ育成会主催、毎日新聞西部社会事業団後援)が12月28日、北九州市戸畑区で開かれた。

小学校入学、中学校卒業、成人、退院を迎えた市内在住の72人が対象で、うち31人が参加。一人ずつ名前が呼ばれ、壇上に上がって育成会の北原守理事長から記念品を手渡されると祝福に駆けつけた家族ら約300人から大きな拍手が送られた。

◆公益財団法人への移行問題 認定申請先を変更

西部社会事業団は11年12月下旬、福岡県に申請していた公益財団法人への移行認定申請を取り下げ、改めて国(内閣府)に提出した。当事業団の事業実施地域が複数県にまたがるなどの理由で、福岡県が内閣府に申請し直すよう求めたため、この助言に応じた。

公益財団法人のスタート時期は当初、12年4月を目指していたが内閣府の担当者によると、申請期限が2年足らずに迫り、申請件数が急激に増加し、認定委員会がフル操業状態のため、5月以降にずれ込む見込みという。

「愛の義援金」は1億211万5千円 東日本大震災関連が5割超

毎日新聞社と当西部社会事業団が広くお願いした11年度の歳末助け合い募金「愛の義援金」の集計結果がまとまった。海外救済金、小児がん征圧募金、東日本大震災復興基金、毎日希望奨学金を含めた募金総額は971件、1億211万923円に達し、前年度に比べると415万8811円余り増加した。一般募金は、児童養護施設や母子施設、障害児施設などの子どもたちへの新入学や卒業の祝い品プレゼントや福祉諸団体への助成金として活用し、他の指定募金は関係機関や団体へ配分する。ご協力ありがとうございました。

歳末恒例チャリティ即売展

美術ファンでにぎわった北九州展会場



即売展には、全国の洋画家、日本画家、書家、名刺の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら825人から1499点の作品が寄せられた(前年度837人、1574点)。これらの作品を3会場に振り分けて前年度の即売展で残っていた作品と合わせて展示・即売。いずれの会場でも特に著名な作家から寄せられた作品約1000点は入札方式とし、2日目に集計して最高値の方を落札者に決定した。

即売展には、全国の洋画家、日本画家、書家、名刺の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら825人から1499点の作品が寄せられた(前年度837人、1574点)。これらの作品を3会場に振り分けて前年度の即売展で残っていた作品と合わせて展示・即売。いずれの会場でも特に著名な作家から寄せられた作品約1000点は入札方式とし、2日目に集計して最高値の方を落札者に決定した。

美術ファンでにぎわった北九州展会場

今年度も事前PRに重点を置き、チラシの作成・配布、毎日新聞紙上での特集記事掲載、各会場展

即売展の売上から諸経費を差し引いた益金は、多様な福祉事業に活用。児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体や各種施設への助成金などに配分する。

直前の地方版社告、RKBやTVSなどテレビ局によるニュース放映、事業団ホームページでの作品紹介、西鉄バスや北九州市モノレール、福岡市地下鉄での車内吊り広告等写真などを実施し、入場者増加を図った。

美術ファンでにぎわった北九州展会場

即売展の売上から諸経費を差し引いた益金は、多様な福祉事業に活用。児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体や各種施設への助成金などに配分する。

即売展の売上から諸経費を差し引いた益金は、多様な福祉事業に活用。児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体や各種施設への助成金などに配分する。

即売展の売上から諸経費を差し引いた益金は、多様な福祉事業に活用。児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体や各種施設への助成金などに配分する。



◆国際車いすテニストーナメント 63人の選手がラリーを展開

◆小児がん征圧募金を贈呈

小児がん征圧募金の贈呈式が3月6日、福岡市の毎日新聞福岡本部であり、募金の配分先となった3団体に100万円、医療福祉事業の助成団体に30万円を贈った。贈呈されたのは「ここにこスマイルキャンプin九州」実行委員会▽久留米大学病院小児科親の会「木曜会」▽九大病院小児科ボランティア「ゆめりんご」▽福岡ファミリーハウスの4団体。岩松城・毎日新聞西部本社編集局長が各団体の代表に配分金を手渡した=写真。



国際車いすテニストーナメント2012北九州(NPO九州車いすテニス協会主催、毎日新聞西部社会事業団など共催)が3月2日から3日間、北九州市八幡西区の穴生ドームで開かれ、63人のプレーヤーが熱いラリーを繰り広げた=写真。

車いすテニスは、ボールが2回バウンドするまで返球可能な点以外は、テニスと同じルール。シングルス、ダブルスに出場した選手たちは、車いすを巧みに動かしながらラケットを手に懸命にボールを追って打ち返していた。